

## 教材事例書式

教材教具名 アストラムラインの改札機	教科（生活単元学習）	情報提供者（ 小学部3年生 ）
教材教具写真		
		
アストラムラインの改札機（正面から）	（斜めから…使用時には、人が入れる箱を横付け。）	
教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等		
1 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体物を用いることで切符を用いた改札機の利用の仕方を知り、アストラムラインに乗るために必要な手順であることへの理解を図る。</li> <li>○校外学習に向けて、アストラムラインに乗ることへの見通しをもたせる。</li> </ul>	
2 発達段階など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初めて(または数回)、アストラムラインの乗ろうとする段階。</li> <li>○絵や写真での認知があり、具体物を用いることでより高い理解を促すことができる。</li> </ul>	
3 使い方	<p>【アストラムラインに乗る校外学習での事前授業にて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①券売機の模型を用いて切符を購入。</li> <li>②改札機の中に教師が一名待機する。児童を改札機の前に並ばせて、一人ずつ切符を入れ口に通させる。改札機の中に入った教師がそれを引き抜き、取り出し口から出す。児童は、視線の前方にある取り出し口から、切符が出ることを確認して自分で引き抜き、改札機の利用の仕方を知る。</li> </ul>	
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）		
<p>本物と似た具体物を作成することで、児童の興味関心を引きつけることができた。また事前の学習により、改札機に対して、それぞれの児童がどのような反応を示すかも見てとれた。</p> <p>校外学習に行った際も、改札機を少し怖がる児童はいたものの、通ることを強く拒否しようとする児童などが出ることなく、一人でも切符を用いて改札を通ることのできる児童も見られた。初回のアストラムラインへの校外学習でも、比較的落ち着いて改札機を通ることができ、回を重ねるごとに、一人でも改札を通ることのできる児童が増えていった。</p> <p>具体物の作成は時間がかかるものであったが、校外学習時での児童の大きな混乱を防ぐことができたこと、及び改札の利用に関して、多少の見通しをもたせられたことが、大きな成果ではなかったかと感じている。</p>		

